



炊き込みご飯、ハンバーグ、豚汁、パウンドケーキを作りました。

地域で守る！郷土の大事な文化財 文化財防火デー 火災防ぎょ訓練

1月20日(日)に、市ふるさと歴史館や周辺の史跡公園で火災を想定した訓練が実施されました。全国的な取り組みである1月26日の「文化財防火デー」に合わせたもので、野々市消防署員の他、市消防団第4分団、御経塚自警団・町内会役員など約50人が参加。火災発見から放水、鎮火までの一連の流れを確認しました。奥村野々市消防署長は、「文化財は地域の貴重な財産。日頃から町内会など地域と連携・協力して、文化財を守っていきたい」と話しました。

ヤーコンを使ったおいしい和食 金沢工業大学ヤーコンプロジェクト

1月27日(日)、富奥防災コミュニティセンターで金沢工業大学ヤーコンプロジェクトによるヤーコン料理教室が開かれました。この教室はスーパーフードとしても注目されるヤーコンに親しみを持ってもらうことを目的に実施され、学生と参加者が協力してヤーコンを使った料理を作りました。ヤーコンプロジェクトメンバーの前田さんは「このプロジェクトで和食を取り上げたのは初めて。さらに活動を広め、ヤーコンに親しむ人が増えてほしい」とヤーコンの普及を願いました。



地域の宝・文化財はたくさんの人の連携で守られています。



気持ちのこもった演技で訪れた観客を魅了しました。

劇団 nono が結成 10 周年！

野々市市民劇団「劇団 nono」第 10 回定期公演

2月10日(日)、11日(月・祝)の2日間、文化会館フォルテで劇団 nono による第10回定期公演「フェイス～Stay With Me～」が開かれました。今年8月に結成10周年を迎える劇団 nono による毎年恒例の公演で、今回は江戸川乱歩の「少年探偵団」を原案とした劇を実施。舞台では明智小五郎や少年探偵団と怪人二十面相による、手に汗握る熱い戦いが繰り広げられました。各日2回、合計4回行われた公演は大好評で、すべての公演で満員御礼となる盛況ぶりでした。

漫画で野々市の魅力を P R ！ 「ののって！野々市」第3巻を発行

2月8日(金)、市の魅力を発信する漫画「ののって！野々市」の第3巻が発行されました。市観光物産協会が発行するこの漫画は一昨年11月の第2巻以来、約1年3カ月ぶりの新作となります。当日は漫画家の寺井赤音さんと原作の輝野良明さんが市役所を訪れ、「漫画のストーリーと一緒に市内に咲くツバキの花も楽しんでほしい」と語りました。漫画は市役所や学びの杜ののいち カレードに設置されたほか、市観光物産協会のホームページからも閲覧することができます。



野々市の魅力が詰まった1冊！ぜひ読んでみてください。

まちの話題 Focus

皆さんの周りの楽しい話題やイベントなどの情報を教えてください。
市民協働課 ☎ 227-6056

まちを彩る 春を告げる花々 春一番！ 花の野々市探訪

石川県オリジナル品種の花である「エアリーフローラ」。その摘み取り体験が2月16日(土)にボランティアガイドののいち里まち倶楽部によって開催されました。会場は、中林でエアリーフローラを栽培している北佳浩さんのハウス。26人の参加者は、ピンクや黄色など約7色の中から好みの色を選び、摘み取りを楽しみました。参加した女性は「明るい色が華やかで花が少ない冬には嬉しいです。玄関に飾ります」と嬉しそうに語りました。

その後、中央公園内ののいち椿館で職員の説明を聞きながら約500本の椿を鑑賞。中でも、全国的にも珍しい黄色の花を咲かせる椿「初黄」が参加者の目を引いていました。

2種類の春の花を堪能し、一足早く春を感じるひとときとなりました。



①広い温室には色とりどりのエアリーフローラが並んでいます
②花からは甘い香りが
③里まち倶楽部のスタッフが摘み取りをサポート
④椿館には多くのツバキを展示しています
広報写真アルバム
※3月4日(月)13時からアクセス可

コミュカはんぱないって！

結婚支援事業「自分だけの聲の形をきけ」

1月26日(土)、市が主催する初の結婚支援事業をラヴィール金沢で行いました。KIT-SCC(ストゥーシー)協力の下、プロからコミュニケーションのコツを学ぼうと約30人の大学生が参加。男女別で実施したセミナーやメイクレッスンの後、異性と協力してワークショップが行われ、フリートークで交流を深めました。アイスブレイクが随所に取り入れられ、会場は終始和やかな雰囲気。恋愛にも就活にも役に立つ内容に、参加者からは充実した様子が伺えました。



アイスブレイク『人間知恵の輪』、とっても楽しそうですね。

昔ながらの伝統や生活を知ろう わら工作の会

2月5日(火)、押野公民館でわら工作の会が開催されました。館野小学校の5年生を対象とし、押野公民館が主催するこの事業は今年で32年目。当日は64人の児童が参加し、講師となった地域のお年寄りから昔ながらのわら縄作りを教わりました。最初は苦戦していた児童も「おじいちゃん、おばあちゃんに教えてもらってうまくできるようになった」との言葉通り、みるみる上達していました。また、わらじや俵など、わらで作られた道具に触れ、昔の生活に思いを巡らせました。



地域のお年寄りと児童が交流する貴重な機会にもなりました。